

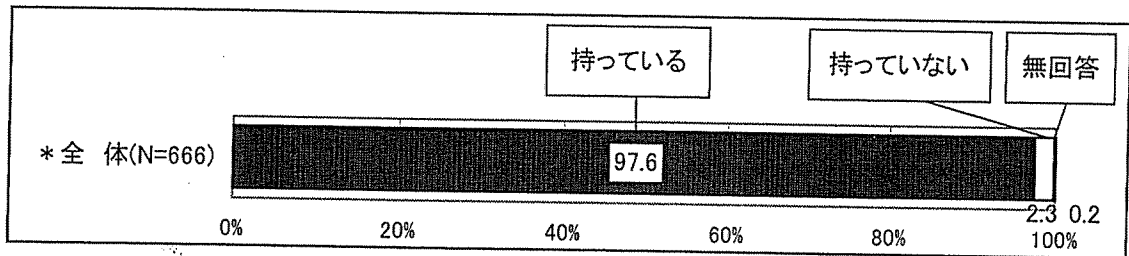
## (2) 携帯電話の使用

### ① 所有の実態

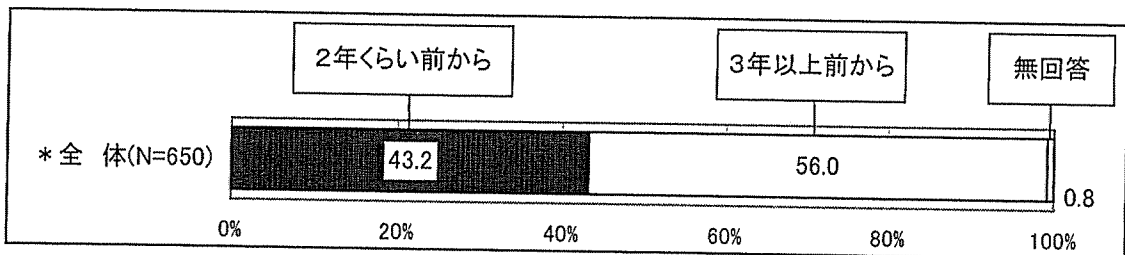
ほとんど全員が自分自身の携帯電話を持っており、その半数以上が3年以上も前から使っている。

携帯電話を持つようになった理由としては、「いつでも電話連絡がとれるから」が最も多く、7割強がこの理由をあげている。「メールの交換」や「インターネット利用」は、使用の契機としてはごくわずかである。すぐ後で紹介する現実の利用実態とは大きく食い違っている。

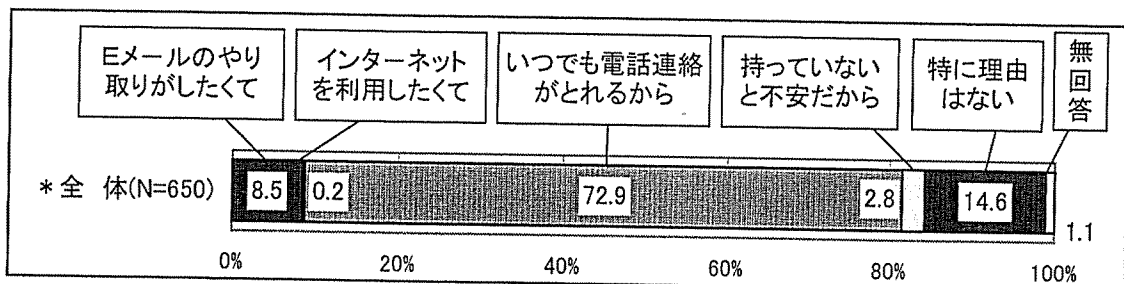
(図表7) 携帯電話の所有



(図表8) 携帯電話を使い始めた時期



(図表9) 携帯電話所有の契機



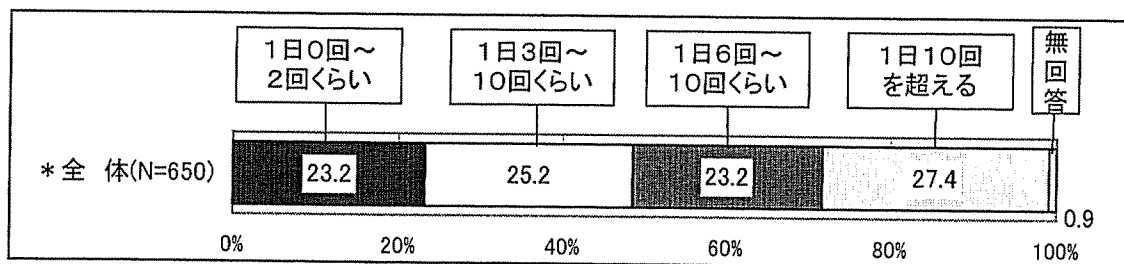
② 利用の実態

携帯電話の使用頻度は、「1日10回を超える」ものが最も多く、「1日6回から10回くらい」と合わせて全体の半数に達する。

その使用目的をみると、8割近くが「メールの送受信」が最も多いと答えている。携帯電話を耳にあてて街を歩いている若者の姿も沢山見かけられるが、乗り物の中やコーヒーショップで、一点を見つめながら親指を携帯電話の上で動かしていることの方が、彼らにとっては一般的なのであろう。

電話連絡の容易さを理由に持った携帯電話ではあるが、いざ持ってみると、メールのやり取りの手軽さというか、相手の在不在を問わない便利さを知って、それを頻繁に使うことになるものと思われる。

(図表 10) 普段の利用頻度



(図表 11) 利用回数が一番多い使用目的

